



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東
 コード番号 3928 URL http://mynet.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 村兼 躍 (TEL) 03-6864-4261
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	5,820	112.3	211	69.2	189	58.1	△177	—
28年12月期第2四半期	2,741	—	124	—	119	—	93	—

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 △177百万円(—%) 28年12月期第2四半期 93百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
29年12月期第2四半期	円 銭 △22.14	円 銭 —
28年12月期第2四半期	13.96	13.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
29年12月期第2四半期	百万円 9,105	百万円 6,617	% 72.6
28年12月期	10,223	4,050	39.3

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 6,607百万円 28年12月期 4,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(29年度1月1日～平成29年12月31日)

連結業績予想につきましては、現時点において適切な予想値を算出することは困難な状況であるため、記載しておりません。詳細は添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 1社(社名) 株式会社S&Mゲームス、除外 1社(社名) 株式会社C&M
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期2Q	8,108,000株	28年12月期	7,128,000株
29年12月期2Q	74株	28年12月期	—株
29年12月期2Q	8,024,169株	28年12月期2Q	6,664,000株

(注) 当社は平成29年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、引き続き新興国経済の鈍化や欧米の政治動向への懸念など海外経済が不透明な状況で推移していましたが、国内景気は政府の経済政策や日銀の金融緩和等を背景に雇用や所得環境の改善傾向及び企業収益の拡大など、緩やかではありますが回復基調が続いております。

このような環境の中、成熟期に入りつつあるスマートフォンゲーム市場では、合理化を目的として事業者同士の合従連衡の動きやゲームメーカーとサービス事業者の役割分担のように業界の構造変化が粛々と進んでおり、今後もゲームタイトルをゲームサービス事業者に売却または運営を委託するという流れは続くものと予想しております。

当社グループは、ゲームメーカーが制作したスマートフォンゲームを買取や協業により仕入れ、独自のノウハウでバリューアップした後に長期サービス運営を行うゲームサービス事業を営んでおります。現在は、ソフトウェア産業からサービス産業へと構造変化したゲーム産業の中で、ゲームサービス業という新たな業態を確立していくことを目指して事業を行っております。当第2四半期連結累計期間において7タイトルの仕入（同会計期間では5タイトル。うち1タイトルは協業からのスキーム変更）と1タイトルのエンディング（同会計期間では該当なし）を行いました。結果、同期間末の全運営タイトル数は39タイトルとなっております。また、当第2四半期連結会計期間にはシリコンスタジオ株式会社からタイトル買取と組織再編を目的として英語圏向け戦略事業会社の株式会社S&Mゲームズと、業界特化型のM&Aコンサルティングファームとしてゲーム・ウェブ領域No.1を目指す株式会社マイネット・ストラテジックパートナーズの主要子会社二社を設立いたしました。

ゲームサービス事業と同時に、当社グループは「オンラインサービスの100年企業」として新規事業を創出するための活動も精力的に行っております。マーケティング関連の事業を展開する株式会社ネクストマーケティングでは、当第2四半期連結会計期間にスマートフォンゲーム企業向けにマーケティングソリューションを提供する「Active Sonar」と、スマートフォンゲームユーザーの新規獲得特化型広告配信サービス「Meegus DSP」の二つの新たなサービスをリリースいたしました。

なお、当社グループで運営しているタイトルのうち、今後予定される収益が想定以上に悪化すると見込まれる2タイトルのエンディングを決定したこと等により、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損損失を計上し、買取タイトルの契約形態を変更したこと等による費用を解約違約金として計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,820,191千円（前年同期比112.27%増）、営業利益は211,424千円（前年同期比69.92%増）、経常利益は189,199千円（前年同期比58.05%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は177,632千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益93,016千円）となっております。

なお、当第2四半期連結累計期間末における当社グループはゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1,118,157千円減少し、9,105,191千円となりました。これは主に、未収入金の減少(前連結会計年度末比958,003千円の減少)、のれんの減少(前連結会計年度末比274,199千円の減少)があった一方で、売掛金の増加(前連結会計年度末比87,658千円の増加)などがあったことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて3,684,591千円減少し、2,487,857千円となりました。これは主に、短期借入金の減少(前連結会計年度末比3,402,402千円の減少)、未払金の減少(前連結会計年度末比350,043千円の減少)、長期借入金の減少(前連結会計年度末比139,722千円の減少)があった一方で、1年内返済予定の長期借入金の増加(前連結会計年度末比193,604千円の増加)などによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて2,566,433千円増加し、6,617,334千円となりました。これは、資本金の増加(前連結会計年度末比1,382,523千円の増加)、資本剰余金の増加(前連結会計年度末比1,382,523千円の増加)があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少(前連結会計年度末比177,632千円の減少)などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ45,084千円減少の2,501,836千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、1,061,929千円となりました(前年同期は328,032千円の収入)。主な収入要因としては、減価償却費522,559千円、未収入金の減少額505,807千円によるものであります。これに対して主な支出要因としては、未払金の減少額280,603千円、法人税等の支払額165,863千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、499,872千円となりました(前年同期は958,423千円の支出)。主な収入要因としては、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得価額修正による収入452,195千円、信託受益権の償還による収入400,000千円によるものです。これに対して主な支出要因は、無形固定資産取得による支出370,816千円、長期前払費用の取得による支出780,674千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、607,141千円となりました(前年同期は1,118,120千円の収入)。主な収入要因は、新株予約権行使による株式の発行による収入2,741,378千円、長期借入れによる収入400,000千円、これに対して主な支出要因は、短期借入金の純減額3,402,402千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績見通しについては、スマートフォンゲーム市場を取り巻く環境が大きく変わろうとしており、当社グループはそれを好機として積極的にM&Aを行っていくことを予定しております。そのため、既存のスマートフォンゲームタイトルの運営に新たなゲームタイトルの仕入れ、ゲームメーカー又はその事業のM&Aなどが今後も連続的に加わることが想定され、将来予測が難しいビジネスモデルであると考えております。

したがって、通期及び四半期業績予想については合理的な予想数値を算出することが困難であるため開示を見合わせていただきます。なお、期中の進捗を踏まえて、算定可能になり次第、速やかに開示する予定としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,546,920	2,501,836
売掛金	1,360,731	1,448,389
未収入金	970,546	12,542
繰延税金資産	101,297	95,103
その他	769,264	324,133
貸倒引当金	△8	—
流動資産合計	5,748,752	4,382,005
固定資産		
有形固定資産	114,528	138,753
無形固定資産		
のれん	2,314,639	2,040,440
その他	292,173	384,047
無形固定資産合計	2,606,813	2,424,487
投資その他の資産		
長期前払費用	581,104	822,608
繰延税金資産	984,481	995,754
その他	187,669	341,582
投資その他の資産合計	1,753,255	2,159,944
固定資産合計	4,474,597	4,723,186
資産合計	10,223,349	9,105,191
負債の部		
流動負債		
買掛金	265,896	352,891
未払金	605,764	255,720
短期借入金	3,840,933	438,531
1年内返済予定の長期借入金	631,836	825,440
未払法人税等	197,023	115,512
その他	181,300	189,787
流動負債合計	5,722,752	2,177,883
固定負債		
長期借入金	449,696	309,974
固定負債合計	449,696	309,974
負債合計	6,172,448	2,487,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,570,511	2,953,034
資本剰余金	1,551,068	2,933,591
利益剰余金	898,478	720,845
自己株式	—	△105
株主資本合計	4,020,057	6,607,365
新株予約権	30,843	9,969
純資産合計	4,050,900	6,617,334
負債純資産合計	10,223,349	9,105,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,741,931	5,820,191
売上原価	1,790,122	3,632,469
売上総利益	951,809	2,187,722
販売費及び一般管理費	827,382	1,976,298
営業利益	124,427	211,424
営業外収益		
受取利息	123	104
雑収入	0	633
その他	—	0
営業外収益合計	123	738
営業外費用		
支払利息	1,573	17,067
株式交付費	3,245	2,823
その他	25	3,072
営業外費用合計	4,844	22,963
経常利益	119,706	189,199
特別損失		
減損損失	—	203,112
解約違約金	—	70,560
固定資産除却損	—	2,116
特別損失合計	—	275,789
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	119,706	△86,590
法人税、住民税及び事業税	55,803	96,120
法人税等調整額	△29,113	△5,078
法人税等合計	26,690	91,042
四半期純利益又は四半期純損失(△)	93,016	△177,632
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	93,016	△177,632

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	93,016	△177,632
四半期包括利益	93,016	△177,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,106	△177,632
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	119,706	△86,590
減価償却費	269,049	522,559
のれん償却額	4,320	241,680
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△679	△8
受取利息	△123	△104
支払利息	1,573	17,067
減損損失	—	203,112
固定資産除却損	—	2,116
解約違約金	—	70,560
売上債権の増減額(△は増加)	66,242	△87,658
未収入金の増減額(△は増加)	42,362	505,807
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,342	86,995
未払金の増減額(△は減少)	△107,077	△280,603
その他	22,875	49,822
小計	404,907	1,244,756
利息の受取額	123	104
利息の支払額	△1,573	△17,067
法人税等の支払額	△75,424	△165,863
営業活動によるキャッシュ・フロー	328,032	1,061,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△419,981	—
子会社株式の取得価額修正による収入	—	452,195
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	—	△9,000
有形固定資産の取得による支出	△15,920	△41,381
無形固定資産の取得による支出	△154,610	△370,816
信託受益権の償還による収入	—	400,000
敷金及び保証金の回収による収入	4,136	32,081
敷金及び保証金の差入による支出	△24,214	△182,277
長期前払費用の取得による支出	△374,499	△780,674
投資その他の資産の増減額(△は増加)	26,666	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△958,423	△499,872
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	199,800	△3,402,402
長期借入れによる収入	950,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△31,680	△346,118
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	2,741,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,118,120	△607,141
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	487,729	△45,084
現金及び現金同等物の期首残高	1,732,278	2,546,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,220,007	2,501,836

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による新株発行に伴い、資本金が1,382,523千円、資本剰余金が1,382,523千円増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,953,034千円、資本剰余金が2,933,591千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループはゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。